２０１１年度　圏域住民のためのSOSネットワークによるシンポジウム開催要項
～認知症高齢者にやさしいまちをめざして～

（目的）

高齢化がますます進展する中で、もはや認知症への対応は、介護者や家族のみではなく、地域住民すべての人々が向き合う大きな課題となってきています。

認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく穏やかに生活できるように、誰もが認知症について正しく理解し、徘徊による事故を未然に防止するために構築されているSOSネットワークが具体的に機能することや、地域における見守り支援など地域全体で認知症高齢者の生活を支えていく体制を構築していくことが「人にやさしいまち（地域）づくり」につながっていくと考えております。

このような観点から、今回、南部圏域で、認知症と向き合う様々な方とともに考え、学び、交流する場として「圏域住民のためのSOSネットワークによるシンポジウム及び模擬捜索訓練」を企画いたしました。

南部圏域でのささやかな試みが、大きなうねりになり、市内全域に広まり、全市を対象にこのような企画がされることを切に願い、開催目的といたします。

日時：２０１１年7月１６日（土）
　　9：00～15：00

場所：北見市高等技術専門学院（北見市末広町３５６番地１　TEL　0157-24-8024）

会費：無料

定員：１５０名

参加対象：
　一般市民、民生児童委員、障害・福祉サービス事業所職員、その他関心のある方ならどなたでも参加できます。

申込方法：社会福祉法人きたの愛光会へ、電話（0157-68-1165）または
　　ファックス（0157-26-0500）にて、7月８日（金）までにお申し込みください。

主催：社会福祉法人きたの愛光会　在宅支援部
　　北見市南部地区地域包括支援センター
　　行方不明から安全に戻れることを願う会

後援：北見保健所、北見市、北見警察署、北見市自治会連絡協議会

お問い合わせ：社会福祉法人きたの愛光会　在宅支援部　加納、島田（電話0157-68-1165）

【タイムスケジュール】

8：15　開場・受付

【午前の部】

9：00　開演

開会挨拶

社会福祉法人きたの愛光会　施設長　大岩　満雄

行方不明から安全に戻れることを願う会　会　長　川窪　政俊

来賓挨拶 北　見　保　健　所

北　　見　　市

9：25　オリエンテーション

ファシリテーター

有限会社　ハヤカワプランニング

代表取締役　早川 浩士

9：35　報告

「地域包括支援センターの役割と課題」

北見市南部地区地域包括支援センター

センター長　齊藤　正

9：55　「介護をされているご家族のお話し」※調整中

10：15　（休憩）

10：25　講演

「精神科ソーシャルワーカーが話す認知症の特徴的な様子と対応」

北見市　玉越病院　精神保健福祉士　岩間　孝介

10：45　「認知症劇団ほっこり」による認知症介護劇

10：55　「認知症サポーター養成講座」

北海道認知症介護指導者

北見市　グループホームエーデルワイス

総施設長　青山　由美子

12：25　（休憩）昼食炊き出し（カレーライス）

【午後の部】

13：10　「SOS ネットワーク対応訓練」

14：10　「反省会」

・模擬徘徊者より

・参加者より

・地域より

・北見警察署より

「シンポジウム総括」

・早川 浩士

14：40　閉会挨拶

北見市自治会連絡協議会

会　長　　三原　忠

15：00　閉会